

# ジェイテクトコラムシステム

## 仕入先サステナビリティガイドライン

2025年4月

株式会社ジェイテクトコラムシステム

ジェイテクトコラムシステムは、企業活動を通じ、地球・社会の持続可能な発展に貢献したいと考えています。

そのために、ジェイテクトコラムシステムはものづくりを支えていただいているサプライチェーン全体で、本ガイドラインの遵守に取り組みます。

仕入先の皆様には、本ガイドラインをご理解いただき、下記項目への取り組みをお願いいたします。

そして、皆様の仕入先に対しても、皆様のサステナビリティ方針・ガイドラインの展開・啓発活動を通じ、下記項目への取り組みの浸透・普及に努めていただきたいと思います。

## 1. コンプライアンス

### ○法令の遵守

- ・各国・地域の法令とその精神を遵守する。
- ・コンプライアンス徹底のため、方針・体制・行動指針・通報制度・教育などの仕組を整備し実施して、異常が発生したら速やかな是正に努める。

### ○機密情報・個人情報の管理

- ・自社の機密情報を適切に管理・利用する。
- ・他社の機密情報は正当な権限者から正当な方法で入手し、適切に管理し、適切な方法範囲で使用する。
- ・従業員、お客様、取引先の個人情報は正当な方法で入手し、適切に管理し、適切に利用保護する。

### ○知的財産の保護

- ・自社の知的財産権が侵害されないように保護する。
- ・第三者の特許等は不正入手や不正使用など権利侵害を一切行わない。

### ○競争法の遵守

- ・不当な取引制限など各国の競争法に違反する行為を行わない。

### ○輸出取引管理

- ・輸出取引管理に関する法令に従い規制の該非判定書などを作成提供する管理を徹底する。

### ○腐敗防止

- ・政治献金、寄付等は各国・地域の法令に基づき実施し、政治・行政と透明かつ公正な関係作りに努める。
- ・不当な利益等を目的に調達先等に対して接待などは行わない。
- ・虚偽の取引や誤解を与えるような取引は行わず正確かつ公正に会計記録を作成保持する。

### ○リスク把握

- ・経営に関するリスクを把握し、異常への対応に努める。

### ○反社の排除

- ・暴力団や総会屋等との関係を排除する。

### ○BCPの策定

- ・災害などの不測の緊急事態に備え、事業継続計画（BCP）を整備する。
- ・災害・事故等の不測の事態が発生した際に、重要事業や業務が継続あるいは早期復旧できる体制を整えられるようにリスクマネジメントを行う。

## 2. 人権・労働

### ○人権尊重

- ・国際規範に学び人権尊重の取り組みを進め、責任を果たすため人権デューデリジェンスの仕組みを構築し継続する。

### ○差別禁止

- ・雇用を含むあらゆる場面において、いかなる理由の差別を行わない。

### ○人材育成

- ・従業員一人ひとりの個性を尊重して、達成感を得ながら成長できるよう従業員の能力開発やキャリア形成に努める。

### ○ハラスメント禁止

- ・あらゆる形態のハラスメントや個人の尊厳を傷つける行為を認めず、ハラスメントが報告されたら直ちに調査を行い適切に対応し、再発を防止する。

### ○児童労働禁止

- ・子供から教育機会を奪い、その発達を阻害するような早い年齢から仕事をさせる児童労働を認めない。
- ・18歳未満の従業員を危険有害業務に使用しない。

### ○強制労働禁止

- ・あらゆる強制労働やいかなる形態の現代奴隷を認めない。
- ・公的な身分証明書等を従業員に要求しない。
- ・国際規範上で不当とみなされる費用を本人に負担させない。
- ・職業訓練や見習いについて、各国該当法令等が認めている範囲のみで就労可能とする。

### ○賃金

- ・給付等に関する各国該当法令等を遵守し、給与その他給付及び控除の明細を従業員に伝えて支給する。

### ○労働時間

- ・従業員の労働時間（超過勤務を含む）を規定する各国該当法令等に従う。

### ○従業員との対話・協議

- ・従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、事業活動を行う国の該当法令等に基づいて認める。
- ・従業員が経営層へ、報復、脅迫や嫌がらせをおそれずに、オープンで直接コミュニケーションできる権利を保証する。

### ○安全・健康な労働環境

- ・誰もが安心して働けるよう、職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故、災害の未然防止に努める。
- ・職場での健康増進活動や疾病予防のための指導などを通じて、従業員の健康づくりを支援する。

### 3. 環境

#### ○環境マネジメント

- ・継続的な改善を行う環境マネジメントシステムを確立し各国・各地域の環境関係法令を遵守する。

#### ○地球温暖化防止

- ・温室効果ガス排出量を削減する製品・サービスの開発や、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- ・カーボンニュートラルを目指しあらゆる削減方策の立案と推進に取り組む。
- ・客先が排出量の報告を依頼した場合はこれに応じる。

#### ○環境の汚染防止

- ・環境を考慮し、継続的にインパクトを評価しながら徹底的な排水・汚泥・排気等の監視・制御を実施し流出量の削減に取り組む。

#### ○省資源・廃棄物の管理

- ・廃棄物の削減やリサイクルに取り組む。
- ・廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国・地域の法令を遵守する。

#### ○化学物質管理

- ・関連法令を遵守し化学物質を管理（廃止、削減等）し製品および製造工程等において禁止された物質を使用せず行政に適切に報告する。

#### ○生物多様性保全

- ・生物多様性の保全が命と暮らしを支える重要な社会的課題と認識し、事業活動と生物多様性の調和に努める。

### 4. 責任ある資源・原材料調達

#### ○責任ある資源・原材料調達

- ・人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料（例：紛争鉱物・コバルト・天然ゴム等）の使用による地域社会の影響を考慮した調達活動を行うこととし、懸念のある場合には、使用回避に向けた施策を行う。  
紛争鉱物とは、コンゴ民主共和国や隣接国における紛争の資金源となっているその地域の特定の鉱物のことである。  
対象はタンタル、金、錫、タングステン、コバルト、マイカである。

## 5. 社会貢献

### ○社会貢献

- ・それぞれの地域が抱える社会的課題に目を向け、地域社会と協力しながらその解決につながる社会貢献活動を目指す。

### ○情報開示

- ・経営・財務・環境保全・社会・社会貢献に関連する情報などについて、ステークホルダーに有用な情報を正しく適時に開示する。

## 6. 安全・品質

### ○安全・品質ガバナンスの徹底

- ・各国・地域ごとに定められた安全・品質法規等を満たした製品・サービスを生産・提供する。

### ○品質確保

- ・品質を確保する全社的な仕組みを構築・運用する。

## 7. 情報セキュリティ

### ○基本姿勢

- ・企業は、事業活動を通じて得た情報を適切に管理・保護する。

### ○攻撃への防御

- ・サイバーリスクに対する適切な対策を講じ、情報漏えいや被害の発生・拡大を防止する。

## 8. 皆様の仕入先への展開

### ○サプライチェーン管理

- ・直接の取引先のみならず必要に応じて上流の取引先や原材料の原産地の情報を収集しトレーサビリティの確保に努める。

### ○仕入先への展開

- ・仕入先に以上の趣旨を踏まえたサステナビリティ方針・ガイドラインを展開し、啓発活動を通じサステナビリティへの取り組みの普及・浸透に努める。